

中央区  
区ビジョンまちづくり計画 第一次実施計画  
平成28年度分取組状況

新潟市中央区役所

## 中央区 区ビジョンまちづくり計画の取組状況について

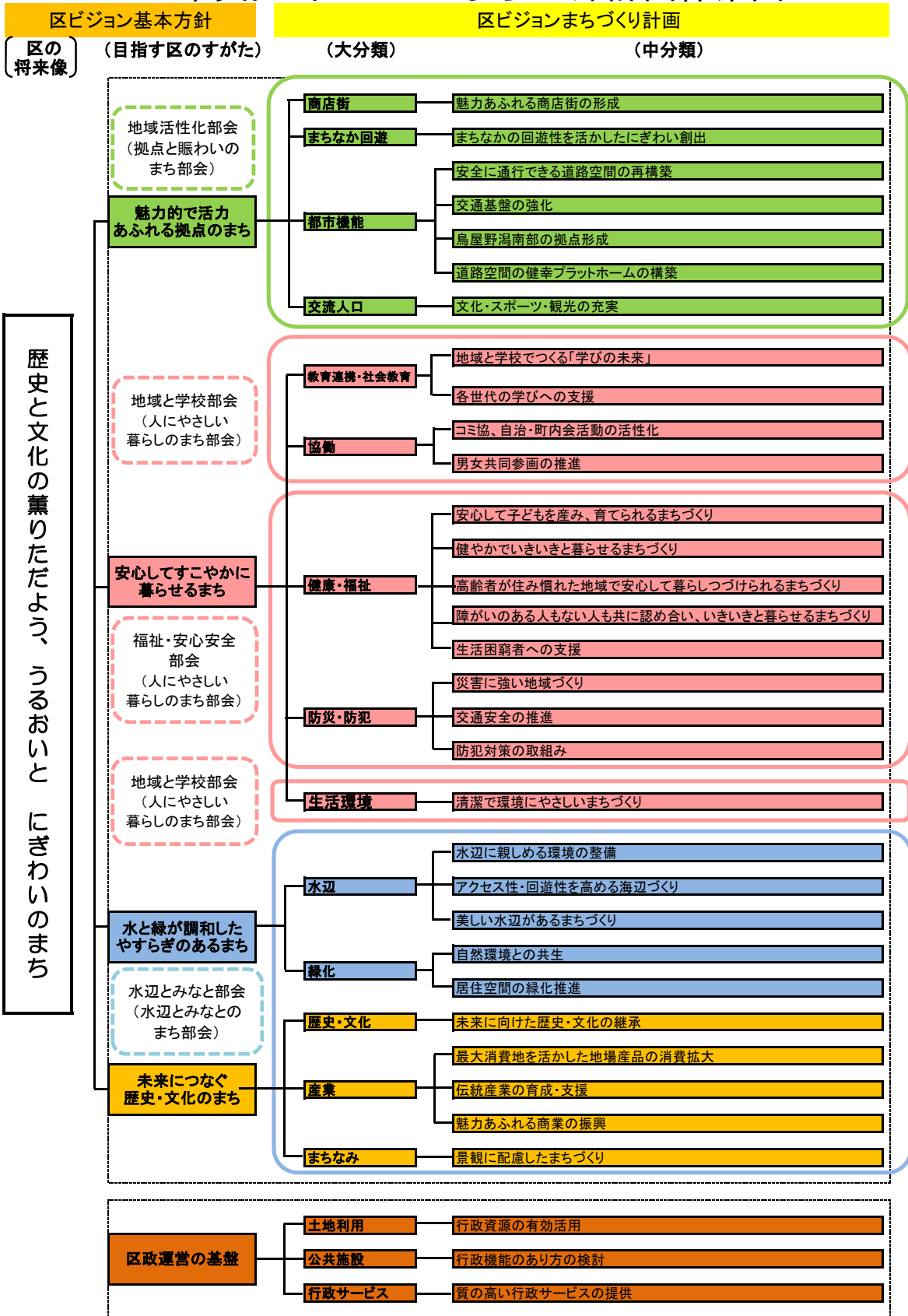
にいがた未来ビジョン(H27～H34年度)

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
基本構想								
基本計画								
実施計画								
	第1次 実施計画	第2次 実施計画	第3次 実施計画	第4次 実施計画				

中央区 区ビジョンまちづくり計画(H27～H34年度)

基本計画								
実施計画								
	第1次 実施計画	第2次 実施計画	第3次 実施計画	第4次 実施計画				

# 中央区 区ビジョンまちづくり計画体系図



※「区政運営の基盤」は、中央区区ビジョン基本方針における「目指す区のすがた」と別に、中央区区ビジョンまちづくり計画に位置づけているものです。

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
魅力的で活力あふれる拠点のまち										
1 商店街										
魅力的あふれる商店街の形成										
		1	中央区拠点商業活性化推進事業の実施	中央区拠点商業活性化推進事業計画(平成26~30年度)に位置付けた事業を重点的に支援し、区の商店街活性化を推進します。	支援実施	○	・中央区拠点商業活性化推進事業計画に位置づけられた事業の支援を実施 (取組結果:△・×の理由)	・引き続き、積極的に周知を図り、賑わいの創出に努めています。	中央区経済部	地域課 商業振興課
		2	がんばるまちなか支援事業	市内全域の商店街を対象として、商店街団体や公益活動団体が実施する地域の特色を活かした空き店舗活用事業を公募し、重点的に支援します。 各区それぞれの拠点商業地を対象として、商店街の集客力を高めるような魅力的な店舗を出店する事業を公募し、重点的に支援します。	・がんばるまちなか支援事業の実施 ・まちなか集客力向上事業の実施 参考:全市における採択事業 目標件数:15件	△	地域の特色を生かした空き店舗活用事業を公募し重点的に支援 ◎採択件数:4件(うち中央区2件) ◆決算額(全市):70,508千円 (うち中央区分:63,024千円) (取組結果:△・×の理由) ・選定委員会における採択基準の見直しにより、新規採択事業が当初見込みを下回ったため。	・申請前の適切な指導により、新規採択件数の目標達成につなげていきます。	経済部	商業振興課
		3	地域商店魅力アップ応援事業	市内全域の店舗を対象として、店舗の魅力づくりを図るため、改装工事や備品購入を支援します。	地域商店魅力アップ応援事業補助金交付店舗の月あたり平均売上高1%の向上	○	・小規模店舗の魅力向上のための支援実施 ◎地域商店魅力アップ応援事業補助金交付店舗の月あたり平均売上高 10.2%向上(暫定値) ◆決算額(全市):71,154千円 (うち中央区分:20,739千円) (取組結果:△・×の理由)	・引き続き事業周知の徹底を行い、売上や来客数の増加につながるような支援を行っていきます。	経済部	商業振興課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんどこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
2 まちなか回遊										
まちなかの回遊性を活かしたにぎわい創出										
		4	新たな交通推進事業	新潟駅～西区青山を第1期区間として連節バス、情報案内システム、走行空間・駅、交通結節点を備えた新たな交通システム(BRT)を平成27年9月5日に開業し、その後は、専用走行路などの機能向上に向け準備、検討を進めます。さらに、新潟駅高架化を見据えながら第2期導入区間への延伸についてLRTの導入も含め検討します。	引き続き、第1期導入区間において、専用走行路設置などの機能向上に向け準備、検討	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>路上バス停設置社会実験に向けた調査、社会実験の実施及び検証</li> <li>利用者等の意見を踏まえた改善の実施(ダイヤ改正)</li> <li>評価委員会の開催</li> </ul> ◆決算額(全市):190,236千円 (取組結果:△・×の理由) ・	<ul style="list-style-type: none"> <li>新潟駅南北の一体的なバス交通の構築に向けた検討や評価委員会による事業効果の検証を行うとともに、事業PRの強化を行っていきます。</li> </ul>	都市政策部	新交通推進課
		6	都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業	まちなか再生本部の報告を踏まえ、「萬代橋周辺地区」において魅力的な都市空間の形成と官民が連携したエリアマネジメントの推進を図ります。公共空間の活用や自然・水辺を活かした景観づくり、環境整備、情報発信など、地域の魅力向上と活性化に向けたハード整備・ソフト対策を展開し、萬代橋周辺ならではのまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共空間を活用したエリアマネジメント事業の検討と実施</li> <li>まちなか空間づくり(市道や広場整備)</li> <li>萬代橋周辺の景観づくり</li> <li>ガルベストーン通り～弁天通り歩行者空間整備</li> <li>港湾緑地の活用推進事業</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>信濃川やすらぎ堤において、民間事業者がオーブンカフェなどの営業活動を行う「ミズベリング信濃川やすらぎ堤」を実施</li> <li>萬代橋周辺の賑わい創出に向け、視点場づくりの設計を実施</li> </ul> ◆決算額(全市):80,216千円 (取組結果:△・×の理由) ・カルベストーン通りにおいて、用地交渉が難航し、未着手となったため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>萬代橋周辺ならではの魅力を生かし、官民が連携したまちづくりを推進していきます。</li> </ul>	都市政策部	まちづくり推進課
		7	歩いて楽しいまちなかサイン事業	「新潟駅周辺・古町地区・沼垂地区」において、国県道、市道各所に外国語表記を含む案内板を設置し、訪れる人々の回遊性を向上させるとともに、魅力あるまちを内外にアピールします。	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>当事業については、平成27年度に事業を完了しており、訪れる人々の回遊性向上に寄与したことから事業終了とします。</li> </ul> (取組結果:△・×の理由)		中央区	建設課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
		8	【特色ある区づくり事業】 中央区外国人向け魅力発信事業	中央区の芸妓・料亭といった伝統文化や老舗酒蔵など様々な見どころを外国特派員に取材・報道してもらいます。 また、新潟在住外国人から文化体験をしてもらい、SNSなどで発信してもらうことで、区の魅力をアピールし、活性化を図ります。	・外国人向け文化体験プログラム ・プレスツアー実施  外国人延べ宿泊者数 全市 45,800人	○	・首都圏で発行される英語版生活情報誌に「古町芸妓と料亭・和食」、「地酒、酒の陣」の広告を掲載 ・外国人向け文化体験プログラムの実施(中国、韓国、台湾など9か国10名が参加)  ◎外国人延べ宿泊者数:52,479人  ◆決算額(中央区):1,996千円 (取組結果:△・×の理由)	・市役所の他の部局や県の観光部局などでも同様の事業を実施しており、各所管業務の整理の中で、当事業については一定の効果を上げたことから、廃止とします。	中央区	地域課
		9	【特色ある区づくり事業】 中央区えんでこ(まち歩き)事業	中央区の見どころを市内外の方々から「まち歩き」で楽しんでもらうことで、区の魅力・宝物への関心を深めていただくとともに、「まち歩き」ファンを増やすことで市街地の活性化を図ります。	まち歩き参加者数 760人	○	・新潟シティガイドによる解説付きの「まち歩き」を実施  ◎まち歩き参加者数:769人  ◆決算額(中央区):1,115千円 (取組結果:△・×の理由)	・参加者のニーズを把握し、新たな付加価値のあるコースの検討を行うなど、何回でも参加してもらえるような工夫を行っていきます。	中央区	地域課
<b>3 都市機能</b>										
<b>安全に通行できる道路空間の再構築</b>										
		10	自転車利用環境推進事業	国の「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を踏まえ策定した「新潟市自転車利用環境計画」に基づき、自転車走行空間及び駐輪場の整備を行い、安全で快適な歩行空間を確保するとともに、路上駐輪の抑制を図ります。	・走行空間整備 ・駐輪場整備 ・自転車利用推進計画の実施	○	・走行空間整備(ネットワーク路線) 13.6Km ・駐輪場整備(古町地区) 100台  ◆決算額(全市):204,428千円 (うち中央区分:47,802千円) (うち繰越分:21,940千円) (取組結果:△・×の理由)	・自転車利用環境向上に向けて、新潟市自転車利用環境計画及び新潟市自転車走行空間整備ガイドラインの改訂を行っていきます。	土木部	土木総務課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんでこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況			今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果	取組事項(実績)			
		11	歩行空間整備推進事業	歩行者や自転車も含めた多様な利用者が共存できる道路整備を推進することにより、公共交通や自転車で移動しやすく快適に歩けるまちづくりを進めます。 中央区天神2地内～笹口2地内 L=1,000m W=16m 歩車道のフラット化(マウンドアップ → セミフラット) けやきの根上がり対策、自転車歩行者道の拡幅3m → 4.5m	自転車歩行者道の整備	○	・けやき通りの整備(L=150m) ◆決算額(中央区):58,709千円  (取組結果:△・×の理由) .	・引き続き、歩行空間の整備を進めていきます。	土木部 中央区	道路計画課 建設課
交通基盤の強化										
		12	新潟駅周辺地区の整備	鉄道在来線の高架化を行う連続立体交差事業、新幹線・在来線同一ホーム事業、基幹公共交通軸の主要ターミナルとして整備を行う駅前広場整備事業を一体的に進めることにより、公共交通結節機能の強化等を図り、「新潟」の拠点性を向上させます。	・連続立体交差事業の工事進捗率 55.6%	○	・連続立体交差事業の実施 越後線、新潟駅構内、信越・白新線高架橋整備推進 新幹線・在来線同一ホーム事業の推進 ◎連続立体交差事業の工事進捗率:55.4% ◆決算額(全市):7,326,995千円  (取組結果:△・×の理由) .	・平成33年度の高架駅開業後の基幹公共交通軸の形成に向け、万代広場や高架下交通広場の整備を進めます。	都市政策部	新潟駅周辺整備事務所
		13	国直轄事業負担金(万代島ルート線)	より災害に強い物流ネットワークを構築するため、道路整備を推進します。併せて、災害時の緊急輸送道路の確保や、救急搬送時間の短縮が求められているなか、道路整備により安心・安全なまちづくりを進めます。 万代島ルート線; 栗ノ木道路(用地、工事)／紫竹山道路(用地、工事)	用地買収、整備	○	・栗ノ木道路(用地買収、整備等) ・紫竹山道路(用地買収、整備等)  (取組結果:△・×の理由) .	・継続的かつ安定的な整備推進を働きかけていきます。	土木部	道路計画課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果 取組事項(実績)			
		15	住民バスへの支援	しもまち住民バス「にこにこ号」の運営を支援します。	住民バスの運行支援 本運行分収支率30%以上	○ ・本運行収支率:44.03%(全日5便分) ◆決算額(中央区本運行補助):3,954千円 (取組結果:△・×の理由)	・収支率の更なる向上や利便性の向上が図れるよう、運営を支援していきます。	中央区 都市政策部	地域課 都市交通政策課
<b>鳥屋野潟南部の拠点形成</b>									
		16	鳥屋野潟南部開発計画	鳥屋野潟南部地区において、環日本海地域の拠点にふさわしい環境の優れたアメニティ空間の創出、新しい都市機能の導入を行うもので、民間活力の導入を図りながら、県・市・亀田郷土地改良区の三者で整備を推進します。	-	○ ・事務局会議(県・市・亀田郷土地改良区担当職員による)の開催 ・地元勉強会に出席 (取組結果:△・×の理由)	・県や亀田郷土地改良区と調整しながら、開発を誘導していきます。	都市政策部	まちづくり推進課
<b>道路空間の健幸プラットフォームの構築</b>									
		17	健幸サイクル環境整備事業	ぐるりん新潟島(新潟島一周自転車道)の利便性向上を図ります。 (距離表示等の改善、歩行者と自転車の分離、路面段差の解消など)	概略設計による環境整備の実施	○ ・ぐるりん新潟島の整備(整備済延長L=460m) ◆決算額(中央区):24,562千円 (取組結果:△・×の理由)	・引き続き、整備の推進を図っていきます。	中央区 土木部	建設課 道路計画課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんどこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)



中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果			
4 交流人口									
文化・スポーツ、観光の充実									
	19	水と土の芸術祭推進事業 (水と土の宝物活用事業)	「水と土」をテーマに、各地域の歴史や暮らし文化、伝統芸能等を市民と協働で掘り起し、磨き上げ、現代アートを活用して広く発信するため、水と土の芸術祭2015を開催します。 【市民プロジェクト】【こどもプロジェクト】 【アートプロジェクト】【シンポジウム】 【食おもてなし】	市民プロジェクト及びこどもプロジェクトの実施	○	・市民プロジェクトの募集・審査 (取組実施数:23件) ・こどもプロジェクトの実施 (ワークショップ開催数:5件,参加者数:107人) ※体験展示参加者数:延約6,300人(大人含む) ・地域のプロジェクトリーダーの育成事業開催 (実施回数:11回(5月~3月),受講生:8人)  ◆決算額(全市):9,118千円 (取組結果:△・×の理由) .	・市民プロジェクトは、アーツカウンシル新潟の支援を受け、団体の自主財源確保を促すとともに、審査基準の見直しなど新規団体参入の門戸を広げられるよう努めます。	文化スポーツ部	文化創造推進課
	20	東アジア文化都市事業 (東アジア文化都市交流事業)	東アジアの文化交流拠点として、域内の相互理解を深め、多様な文化を国内外に発信するため、中国・韓国の開催都市との文化交流事業を行うほか、本市の多彩な文化イベントに中韓の文化芸術の要素を組み込んで実施します。	-	○	・寧波市(中国)開幕式参加 ・青少年交流(新潟)実施7/26-29 ・青少年交流(清州)参加7/30-8/2 ・文化イベント交流実施(新潟)8/4-8 ・青少年交流参加(青島)8/10-13 ・文化イベント交流参加(清州)11/9-12 ・奈良市開幕式参加 ・京都市開幕式参加  ◆決算額(全市):17,234千円 (取組結果:△・×の理由) .	・引き続き、パートナー都市と連絡を密に取り合い交流を継続するとともに、歴代選定都市間のネットワークを構築し、知見・経験を共有しつつ、事業の方向性についても協議します。	文化スポーツ部	文化創造推進課
	21	アート・ミックス・ジャパン事業	日本の伝統芸能を身近に楽しんでもらえる機会を提供し、新潟の芸妓文化、踊り文化、伝統芸能を全国へ発信することにより、交流人口の拡大と都市の発展を図ります。 白山公園内のりゅーとぴあや燕喜館、老舗料亭などを会場に、第一線で活躍するアーティストの「和」の公演を開催します。	来場者数 前年度以上 (H27年度:14,127人)	○	・アートミックス・ジャパン2016の開催 ・アートミックス・ジャパン2017の開催に向けた準備・検討  ◎来場者数:18,402人  ◆決算額(全市):9,000千円 (取組結果:△・×の理由) .	・海外公演を実施するなどにより、日本の伝統芸術の素晴らしさを国内はもとより、海外へも発信していきます。	文化スポーツ部	文化政策課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果			
		22	ラ・フォル・ジュルネ音楽祭開催事業	ラ・フォル・ジュルネ音楽祭と新潟ならではの「食」や「花」などの観光資源とを関連付け、市内外にPRし、交流人口の拡大と都市の活性化を図ります。 白山公園内のりゅーとびあや燕喜館、旧齋藤家別邸、旧小澤家住宅を会場に、国内外で活躍する一流のアーティストと市民・観客が一体となる演奏会を開催します。	来場者数 前年度以上 (H27年度:95,595人)	○ ・ラ・フォル・ジュルネ新潟2016の開催 ・ラ・フォル・ジュルネ新潟2017の開催に向けた準備・検討及び新規取組みの企画 ◎来場者数:62,484人 ◆決算額(全市):52,918千円 (取組結果:△・×の理由) .	・有料公演チケットの価値を高め、チケット購入者がより一層満足できる取組みを実施します。 ・公共交通での来場を促すとともに、パーク&ライドを実施するなど会場へのアクセス方法の充実を図ります。 ・市民・県民への浸透を図るため、県内広報に重点的に取り組みます。	文化スポーツ部	文化政策課
		23	みなと新潟「光の響演」事業	市民や来訪者に、本市ならではの歴史や文化に触れる機会を創出し、クリエイティブシティとしてのイメージ創出と定着を図ります。 みなとまち新潟の歴史や文化を象徴する建造物等を活用し、プロジェクションマッピングなど光と映像の演出と、音楽や踊りなど地域文化のステージイベントなどを組み合わせる多面的に展開します。	来場者数 160,000人	○ ・「G7新潟農業大臣会合」光の歓迎の実施 ・ふるまち春フェスタの開催 ・ラ・フォル・ジュルネプロジェクションマッピングの実施 ・「にいがた☆MINATOPIKAプロジェクションマッピング国際コンペティション」の開催 ◎来場者数:57,348人 ※事業内容の変更により目標値は160,000人から70,000人に変更している。 ◆決算額(全市):45,306千円 (取組結果:△・×の理由) .	・開催時期を秋、会場は「みなとびあ」周辺に集中させます。 ・プロジェクションマッピングの集客力をまちなかへ波及させるため、会場と都心軸との回遊性を高めます。	文化スポーツ部	文化政策課
		24	新潟シティマラソン開催事業	榎谷小路や萬代橋などの市街地を走る魅力あるコースとして、フルマラソン・ハーフマラソン・10kmの部を開催します。 また、さらなる新潟の魅力発信や市民の健康増進、交流人口の拡大に向け、新コースの検討に着手し、平成29年度からの実施を目指します。	・エントリー者数 13,700人 ・次年度新コース実施に向けた準備	○ ・第34回大会の開催 ・平成29年度新コースの正式決定 ◎エントリー者数:13,458人 ◆決算額(全市):46,535千円 (取組結果:△・×の理由) .	・新潟市のさらなる魅力発信に努めるとともに、参加者の完走率と満足度向上に努めます。	文化スポーツ部	スポーツ振興課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果 取組事項(実績)			
		25	万代島にぎわい空間の創造事業	万代島のにぎわい創造のため漁協移転後の旧水揚場跡地(県有地)について、本市で利用方針を策定し、これに基づき設計・整備を行います。	基本計画に則り整備 (万代島再開発計画の実現を目指す)	○ ・基本設計・実施設計の完了 ◆決算額(全市):61,453千円 (取組結果:△・×の理由)	・設計に基づき工事発注を行うとともに、供用開始に向け整備を実施します。	都市政策部	港湾空港課
		26	マンガ・アニメを活かしたまちづくり	今後さらに「マンガ・アニメのまち」としての魅力を高め全国にアピールするとともに、関連産業の持続的発展を支援し、本市の活性化を図るため、平成23年度に策定した「マンガ・アニメを活用したまちづくり構想」に基づき各種施策を展開します。	マンガ・アニメ情報館、マンガの家 入館者数 前年度以上 (H27年度:131,149人)	○ ・ポータルサイトでの情報発信及び多言語化 ・マンガの家・パートナーシップ連携 ◎マンガ・アニメ情報館、マンガの家 来場者数:170,738人 ◆決算額(全市):143,500千円 (取組結果:△・×の理由)	・周辺商店街との連携やマンガ・アニメをテーマにした体験などを組み合わせ、ツーリズム化することによって誘客を図れるよう進めていきます。	文化スポーツ部	文化政策課

安心してすこやかに暮らせるまち

1 教育連携・社会教育

地域と学校でつくる「学びの未来」

		27	地域と学校パートナーシップ事業	教育ビジョンにかかげる「学・社・民の融合による教育」を進めるため、学校に地域教育コーディネーターを配置して、学校と公民館や図書館等、地域を結ぶネットワークづくり、協働事業を推進します。 ※小学校…18校、中学校…8校、中等教育学校…1校 (中央区全校実施)	・地域教育コーディネーターの活動支援 ・学校支援ボランティアの登録支援	○ ・各種研修会の実施 ・学校、社会教育施設と地域活動を結ぶネットワークの深化 ・地域と学校ウェルカム参観日の実施 中央区:10校(全市:45校) ◎1校あたり学校支援ボランティア延べ人数:1,611人(全市) 中央区の延べ人数:47,376人 1校あたりの延べ人数:1,755人(27校) ◆決算額(全市):147,753千円 (うち中央区:22,731千円) (取組結果:△・×の理由)	・取組みの重点化による持続可能なシステムづくりを行うとともに、「学校支援」から「地域と学校の連携・協働」へ移行できるよう努めます。	教育委員会事務局	中央区教育支援センター 地域教育推進課
--	--	----	-----------------	---	--	---	---	----------	------------------------

※再掲事業は割愛しています。

No.5、96 (No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)

No.14 (No.4:新たな交通推進事業)

No.18 (No.9:中央区えんでこ(まち歩き)事業)

No.80 (No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)

No.81 (No.79:海水浴場PR事業)

No.86 (No.76:潟の魅力創造・発信事業)

No.89 (No.27:地域と学校パートナー事業)

No.91 (No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)

No.105 (No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果 取組事項(実績)			
		28	区教育ミーティングの開催	区担当教育委員が2人1組となり、区ごとに自治協議会を対象に懇談・意見交換を行います。 全市的な教育情報の発信と地域における教育の実情や区の特性を把握し、市全体の教育行政に反映します。	・区教育ミーティング実施回数 中央区2回	○ ◎区教育ミーティング実施回数:2回(中央区) ◆決算額(全市):0円 (取組結果:△・×の理由) ・	・引き続き、上半期、下半期に実施し、施策へのさらなる反映を図ります。	教育委員会 事務局	中央区教育支援 センター 教育総務課
		29	中学校区教育ミーティングの開催	各中学校区の取組について、コミュニティ協議会、保護者、地域教育コーディネーター等の意見交換を通して、中学校区内の地域と学校の連携を深め、取組の向上・発展を図ります。 教育委員会は、中学校区教育ミーティングを通して、中学校区内における教育の実情や取組などを把握し、市全体の教育行政に反映させます。	中学校区教育ミーティング実施回数 中央区3回	○ ◎中学校区教育ミーティング実施回数:3回(中央区) ◆決算額(全市):0円 (取組結果:△・×の理由) ・	・平成29～30年度は「防災教育」をメインテーマに意見交換を実施していきます。	教育委員会 事務局	中央区教育支援 センター 教育総務課
<b>各世代の学びへの支援</b>									
		30	セカンドライフ農業体験	主に退職後のシニア世代を対象に、家庭菜園等で活用できる農業体験事業を実施することにより、高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを支援し、元気な高齢者の地域社会参加を促します。また、農業体験を通して消費者と生産者が交流することにより、市民の農業と地域魅力への理解を進めます。	体験事業への参加数 中央区 20人	○ ・農業体験講座の実施 ◎体験事業への参加人数:264人 うち中央区:36人 ◆決算額(全市):1,442千円 (うち中央区:372千円) (取組結果:△・×の理由) ・	・受講生が農業サポーター制度へ登録し、講座での学習を生かした活動を行っており、更に農業への学びを深め活動するためにグループを結成していることから、引き続き、受講生の支援を行うとともに、アンケート結果や意見を踏まえ、講座の必要性や有効性を勘案して講座継続について検討を行います。	教育委員会 事務局	中央公民館

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんどこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果			
2 協働									
コミ協、自治・町内会活動の活性化									
		31	【特色ある区づくり事業】 中央区地域コミュニティ協議会活性化推進事業	中央区内の地域コミュニティ協議会が、特色を活かしたまちづくりが行えるよう、地域コミュニティ活動の活性化を図ります。	・中央区地域コミュニティ協議会研修会 ・中央区地域活動ふれあいの集い(講演会・事例発表会など) ・視察研修	○ ◆決算額(中央区):1,190千円 (取組結果:△×の理由) .	・「中央区地域コミュニティ協議会研修会(補助金・助成金に関する実務担当者向け説明会)」、「感謝の集い及び講演会」については継続実施及び他の事業については廃止し、新たに、コミ協拠点整備に係る調査事業を実施します。	中央区	地域課
		32	地域コミュニティ協議会の運営体制強化	地域コミュニティ協議会の自立を促し、活動レベルに応じた支援を行うため、広報や事務局員を雇用できるようにするなど運営体制を強化します。 ・基本補助額の拡充 ・世帯数に応じた規模による加算	・地域コミュニティ協議会運営助成金交付を実施 ・さらなる支援の検討	○ ◆決算額(全市):89,700千円 (取組結果:△×の理由) .	・引き続き、コミュニティ協議会への支援の検討を行っていきます。	市民生活部	市民協働課
		33	地域活動補助金事業	ごみ手数料の市民還元事業を財源とし、地域課題の解決、地域コミュニティ活動の活性化を図る活動等に対して、補助金を交付することにより、地域住民による自主的・主体的なまちづくり活動の取り組みの促進を図ります。	支援実施	○ ・地域活動補助金の交付 ◎交付件数(全市):489件 うち中央区:58件 ◆決算額(全市):81,465千円 (うち中央区:9,693千円) (取組結果:△×の理由) .	・引き続き、公共性の高い事業を支援していくとともに、より使いやすい制度を目指して検討していきます。	市民生活部	市民協働課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果 取組事項(実績)			
		34	地域コミュニティ協議会と地域の連携・活性化事業	事務局員雇用に係る法務や実務上の経理・会計など専門分野の研修を実施します。研修内容も基礎・応用編など、幅を持たせることで、役員の専門化を高め、研修の実施を通じて、コミ協の自主・自立的運営の推進を図ります。また、コミ協運営ハンドブックやコミ協周知のためのパンフレットの作成・配布を行います。	研修実施 前年度以上 (H27年度:4回)	△ ・税理士と労務士を講師とした税・労務研修の実施 ◎研修会実施回数:3回(全市) うち中央区開催:1回 ◆決算額(全市):79千円 (取組結果:△・×の理由) ・前年度のアンケート結果や、講師との打合せを踏まえ、3回の実施としたため。	・研修後のアンケート結果などを踏まえ、地域コミュニティ協議会のニーズに沿った支援を実施していきます。	市民生活部	市民協働課
		35	区自治協議会委員研修会	区自治協議会のさらなる活性化を図るため、全区委員を対象とした研修会を継続して実施するほか、生涯学習センターで実施する「にいがた市民大学講座」の受講料を助成し、委員のさらなるレベルアップを支援します。	・研修実施 全体研修 1回 中央区研修 1回 ・にいがた市民大学 受講料助成	○ ・研修会の実施 ・にいがた市民大学受講料助成の実施 ◎研修会の実施(全体):1回 ◎研修会の実施(中央区):1回 ◎にいがた市民大学受講料助成(全区):4人(中央区):1人 ◆決算額:356千円 (うち中央区:40千円) (取組結果:△・×の理由)	・引き続き、任期を通じた計画的な委員研修を行うことにより、委員のレベルアップを図ります。	市民生活部	市民協働課
		36	協働事業提案モデル事業	市民活動団体からの自由な協働事業提案を募集をし、市民活動団体と市が協働して地域課題の解決を図る事業を、提案のあった翌年度に実施します。	提案数 前年度以上 (H27年度:17件)	× ・2事業の実施 ◎提案数(全市):0件 ◆決算額(全市):2,065千円 (取組結果:△・×の理由) ・制度の見直しにより、一旦休止となったため。	・事業を見直し、事業効果が高まる方法を検討していきます。	市民生活部	市民協働課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
男女共同参画の推進										
		37	男女共同参画地域推進員企画事業	男女共同参画地域推進員(各区3名)と協働で、男女共同参画の広報・啓発・推進につながる施策(イベントや講座等)を実施します。	事業の実施	○	・地域、学校向けセミナーの開催(関屋小学校) (取組結果:△・×の理由) ・	・親子で男女共同参画を学べる機会を創出するため、区内の複数校での実施を目指します。	中央区	地域課
		38	ワーク・ライフ・バランス推進事業	新潟市内の中小企業に勤務する男性労働者が育児休業を取得した場合、その事業主と本人に奨励金を支給します。 男性の育児休業取得促進のため、シンポジウムを開催し、男性の主体的な育児参加への意識啓発を図ります。 ワーク・ライフ・バランス推進のための企業コンサルティングを実施します。 女性の活躍促進のため、シンポジウムを開催します。	男性の育児休業取得率 5%以上 (H26年度 2.1%)	△	・「新潟市男性の育児休業取得促進事業奨励金」の支給 ・男性の育児休業取得促進シンポジウムの開催 ・ワーク・ライフ・バランス推進のための企業コンサルティング ・ワーク・ライフ・バランス推進フォーラムの開催 ・各種講座、啓発活動の実施 ◎男性の育児休業取得率:2.9% ◆決算額(全市):6,361千円 (取組結果:△・×の理由) ・男性の育児休業取得の啓発と併せ、本奨励金の周知に努めたが、機運を醸成することができなかったため。	・新潟市ワーク・ライフ・バランス推進協議会設立によって構築された協力体制を活用し、啓発活動の一層の拡大を効果的・効率的に実施します。	市民生活部	男女共同参画課
		39	男女共同参画啓発事業	審議会・懇話会などでの女性の参画を拡充するため、委員改選期での進行管理を行うとともに、所管課に対しては、機会をとらえ女性委員の登用について促していきます。 女性の人材情報をとりまとめた「女性人材リスト」を作成し、所管課に情報提供を行います。また、市民に対しても、ホームページなどを通じ、啓発を行います。	市役所の審議会・懇話会などの女性委員比率 H32年度までに45%以上	○	・男女共同参画推進会議による市職員の意識改革 ・女性人材リストの充実・活用による女性委員登用の推進 ◎市役所の審議会・懇話会などの女性委員比率:42.1% ◆決算額(全市):2,921千円 (取組結果:△・×の理由) ・	・様々な分野に対応できるよう女性人材リストの充実を図るとともに、引き続き機会をとらえ、女性の登用を促していきます。	市民生活部	男女共同参画課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況			今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果	取組事項(実績)			
3 健康・福祉										
安心して子どもを産み、育てられるまちづくり										
		40	【特色ある区づくり事業】 パパ・ママ子育て支援事業 (みんなでつながる子育て ほっとサポート事業)	父親の育児参加を目的に、休日に育児講座や育児相談を実施します。また、夫婦で参加しやすい環境作りを行い、育児講座等を通して参加者の交流を深め、子育ての悩みを相談しやすい場を提供します。 児童虐待防止を目的として、子育てに関する窓口などを掲載した情報誌を発行します。	・子育て情報誌発行 ・新たな子育て支援事業を検討・実施	△	・妊カフェ開催:12回 参加妊婦延べ:104人 ・育カフェ開催:12回 参加乳児延べ:221人 ・子育て講座:開催 乳児・幼児クラス各12回 参加者延べ:乳児コース204人、幼児コース130人 ・ママのほっとタイム開催:12回 ・子育て情報の発信  ◆決算額(中央区):4,774千円  (取組結果:△・×の理由) ・妊カフェ、子育て講座(幼児クラス)が目標参加者数に届かなかったため。	・妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対し、切れ目ない支援を地域の関係機関と連携・協働して実施していきます。	中央区	健康福祉課
		41	安産教室	妊娠、分娩、新生児の育児等に関する正しい知識を普及し妊婦の不安解消を図ることを目的に実施します。先輩ママとの情報交換(区づくり事業)を2回目に実施します。	・安産教室の実施 ・母親支援の充実	○	◎安産教室実施数:6コース(1コース2回) 参加者数延べ:339人(うち父親104人)  (先輩ママとの情報交換は、平成27年度で終了)  (取組結果:△・×の理由) ・	・医療機関及び関係機関と連携し、安心して妊娠・出産・育児ができるように支援していきます。	中央区	健康福祉課
		42	育児相談	育児に悩みや不安を持つ保護者に対し個別に相談を行い、子育てを支援するとともに、保護者の仲間づくりを図ることを目的に各地域保健福祉センター・健康センターで開催します。	・育児相談の実施 ・相談支援の充実	○	◎育児相談実施回数:48回(4会場) 参加者数延べ:1,884人 ◎子育て支援センター、子育てサークル等での健康教育回数:53回 参加者数延べ:747人  ◆決算額(中央区):1,241千円  (取組結果:△・×の理由) ・	・各地域保健福祉センターで育児相談を実施し、相談支援の充実を図るとともに、他の事業、関係機関と連携して実施します。	中央区	健康福祉課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんでこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)



中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
		43	保育園・支援センター訪問事業	生まれる前から、子育てに対する不安を軽減することを目的に、妊産婦を対象に保育園・子育て支援センターの訪問をとおして、安心して産み育てることができる意識を高めます。	妊産婦見学相談会(仮)を実施	○	◎マタニティライフと赤ちゃんとの暮らしのスタート 応援プログラム:参加者:319人 ◆決算額(中央区):26千円 (取組結果:△・×の理由)	・保護者の負担が過度にならないように配慮しながら、出産前後の時期に必ず子育て支援センターと関わりが生ずる仕組みづくりに発展させられるか検討を行っていきます(ブックファーストの生まれる前バージョンのイメージ)。	中央区	健康福祉課
		44	妊産婦及び子ども医療費助成事業	妊産婦及び0歳から高等学校卒業までの子どもが、病気やけがをしたときの通院および入院医療費の一部を助成をすることで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、支援の充実を図ります。	国・県の実況を見ながら、総合的な子育て支援のあり方の充実検討	○	・通院助成、入院助成の実施 ◆決算額(全市):2,047,565千円 内訳(妊産婦・全市)833千円(うち中央区:183千円) 内訳(子ども・全市)2,046,732千円(うち中央区:411,933千円) (取組結果:△・×の理由)	・国・県の実況を見ながら、総合的な支援のあり方の充実検討を行っていきます。	子ども未来部 中央区	子ども家庭課 健康福祉課
		45	休日保育事業	日曜日・祝日に保護者の勤務等により保育が必要な児童の保育に取り組む保育園に補助を行います。	休日保育実施園数 全市 12園 うち中央区3園	○	◎休日保育実施園数(全市):12園 うち中央区:4園 ◎利用者数(全市):3,642人 うち中央区:1,325人 ◆決算額(全市):46,440千円 (うち中央区:15,340千円) (取組結果:△・×の理由)	・新規開設の施設を中心に休日保育の実施を働きかけます。	子ども未来部 中央区	保育課 健康福祉課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果 取組事項(実績)				
		46	病児保育事業	児童が病気の時でも、安心して預けられるよう、看護師や保育士を配置し、医師との連携をとりながら、一時預かりを実施します。(対象児童:6ヶ月から小学校3年生までの児童)	病児保育の実施 全市 9施設 うち中央区3施設 (H24年度 全市8施設 うち中央区2施設)	○	◎病児保育の実施設数(全市):9施設 うち中央区:3施設  ◎利用者数(全市):12,076人 うち中央区:4,092人  ◆決算額(全市):164,906千円 (うち中央区:55,157千円)  (取組結果:△・×の理由) .	・利用者数の増加のため、病児保育施設の周知を図ります。	こども未来部 中央区	保育課 健康福祉課
		47	児童虐待防止事業	要保護児童等に対する支援を確実に実施するため、支援関係機関の調整機関として、個別ケース検討会議、実務者会議を開催し、要保護児童の情報の集約・共有化及び支援状況の進捗管理などを行う。また、地区連絡会を活用し関係機関とのネットワークの確立を目指します。 「中央区子育て応援 Mascot たっちゃん」を用い、市民の意識啓発を目的とした講座などを開催します。	・実務者会議10回/年 ・地区連絡会 1回/年 ・保護者向けの啓発講座 2回/年	○	◎実務者会議開催数:10回 ◎地区連絡会開催数:1回 ◎関係機関向け研修会開催回数:4回  ◆決算額(中央区):148千円  (取組結果:△・×の理由) .	・児童虐待防止にかかる事業に継続して取り組みます。	中央区	健康福祉課
		48	子育て支援情報発信アプリ整備事業 (子育て応援アプリの運営)	子育てに関する情報を容易に知ることが出来るとともに、自分の地域や子どもの成長に応じた必要な情報を積極的に提供・通知する機能を有するアプリを構築します。	子育て支援情報発信アプリ提供  ダウンロード数 前年度以上 (H27年度:6,954件)	△	・子育て関連情報の発信  ◎アプリダウンロード数:3,835件  決算額(全市):843千円  (取組結果:△・×の理由) ・子育て関連冊子等に掲載する等、引き続き広報活動をしたものの、目標件数には達しなかったため。	・アプリ運用を継続するとともに、利用者の声等に基づくバージョンアップや情報の見直しを検討していきます。	こども未来部	こども政策課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんでこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
健やかでいきいきと暮らせるまちづくり										
		49	特定健診、がん検診の受診向上に向け、PRや周知の促進	特定健診及びがん検診の受診率向上を目的に、各種機会に健診のPRや周知を行い、受診勧奨を実施します。	・特定健診・がん検診の受診勧奨の実施(特定健診受診率60%) ・受診者数の増加	△	・受診勧奨用ティッシュの配布、区だより、自治会回覧板、地域の健康教室、会議等で検診PRと受診勧奨を実施 ◎特定健康診査受診者数:9527人 受診率(速報値):31.69% ◎各種がん検診受診者数(合計):45,709人 ・肺がん検診:6,656人 ・胃がん検診:14,233人 ・乳がん検診:3,451人 ・子宮がん検診:5,046人 ・大腸がん検診:15,256人 ・前立腺がん検診:1,067人 (取組結果:△・×の理由) ・受診率向上にむけて、健診のPRや周知をしているが、目標の受診率には達しないため。	・健康寿命延伸にむけて、受診率向上を目的に、各種機会に受診勧奨を実施します。	中央区	健康福祉課
		50	特定保健指導や健康相談事業の促進	生活習慣病予防を目的に、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の方などに対し特定保健指導を実施します。また、定例日健康相談を行い、地域住民が自らの健康管理ができるよう支援します。	・特定保健指導及び定例日健康相談の実施。 ・保健指導への参加促進	○	・特定保健指導への参加促進 ・未受診者への再案内の送付、電話・訪問による受診勧奨の実施(実施率:12.5%) ◎定例日健康相談(特定保健指導を含む) 開催数:75回 利用者数:133人 (取組結果:△・×の理由) ・	・特定保健指導、定例日健康相談を実施し、生活習慣病予防に取り組みます。	中央区	健康福祉課
		51	健康教育事業の促進	市民に対して心身の健康に関する知識を普及啓発することにより行動変容を促し、市民が主体的に健康保持・増進できることを目的に、健康教育を実施します。	健康教育の実施及び充実	○	◎生活習慣病予防セミナーの開催(全4回) 参加者数延べ:87人 ◎地域・住民からの依頼による健康教育 開催数:3回 参加者数延べ:220人 (主なテーマ:子宮頸がん・性感染症予防、歯科予防など) ◆決算額(中央区):148千円 (取組結果:△・×の理由) ・	・健康寿命延伸にむけて、中央区の健康課題の糖尿病予防について取り組みます。	中央区	健康福祉課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
		52	食生活改善推進委員、運動普及推進委員などの育成・支援事業	食生活改善推進委員、運動普及推進委員のボランティア育成を目的に、養成講座や委員の勉強会を実施します。	食生活改善推進委員の養成講座の実施 委員の育成事業の充実	○	◎食生活改善推進委員勉強会 開催回数:6回 参加者数:148人 ◎食生活改善推進委員養成講座 開催回数:6回で1コース 修了者数:24人(24人受講) ◎運動普及推進委員グループ別総会・勉強会 開催回数:3回 参加者数:34人  (取組結果:△・×の理由) .	・養成講座は、定期的に区で開催し、新規委員を育成します。また、委員の勉強会を開催、委員の知識の向上を図ります。	中央区	健康福祉課
		53	運動体験や運動習慣の定着及び介護予防の支援	高齢者が閉じこもりや寝たきりにならず、いきいきと充実した生活を送るために、地域で運動指導や介護予防教室を開催します。	・膝腰元気塾の実施及び充実 ・介護予防事業の実施及び充実	○	◎お茶の間における膝腰元気塾の実施 開催回数:15回(15会場) 参加者数延べ:256人 ◎お茶の間等における依頼健康教育の実施 開催回数:75回 参加者数延べ:1,546人 ◎2次予防幸齢ますます元気教室の開催 開催回数:27回(7会場) 参加者数延べ:208人 ◎幸齢ますます元気教室修了生による自主サークルへの支援 新規参加者の紹介調整:42人 既成サークルの運動指導:294人 ◎一次介護予防教室の実施 開催回数:48回(4会場) 参加者数延べ:1,275人 ◎脳の健康教室の開催 開催回数:22回 参加者数延べ:487人 ◎口腔器の向上事業 開催回数:10回 参加者数延べ:152人 ◆決算額(中央区):524千円  (取組結果:△・×の理由) .	・膝腰元気塾、依頼健康教育、地域の茶の間等で運動体験、運動習慣の定着を図り、介護予防に取り組めます。	中央区	健康福祉課
		54	地域医療対策推進事業(在宅医療・介護連携推進事業)	「医療計画」に基づき、日常の療養生活の支援から急変時の対応、円滑な退院支援等に対し、切れ目のない医療提供を行う在宅医療体制を構築していくため(仮)在宅医療・介護連携支援センターを整備し、運営します。また在宅医療を担う人材開発のために医師会や看護協会と協働し研修会を開催します。さらに市民の在宅医療への認識やかかりつけ医の普及などを図るため「市民出前講座」を各地域の自治会・コミュニティ協議会や「地域のお茶の間」等を通じて開催し、市民への普及啓発を図ります。	改善・充実  ・在宅医療ネットワーク数 全市18か所 うち中央区 必要に応じ新たに整備	○	・在宅医療・介護連携支援センター整備・運営(全市にて基幹型1か所、ステーション8か所設置) ・在宅医療ネットワーク情報交換会の実施 ・市民出前講座の実施 ・訪問診療医、訪問看護普及啓発研修の実施 ・在宅医療市民フォーラムの開催 ◎在宅医療ネットワーク数(全市):20か所 うち中央区:2か所  ◆決算額(全市):991千円  (取組結果:△・×の理由) .	・在宅医療を支える医師・訪問看護師等の連携の支援や人材の確保・育成を行います。	保健衛生部	地域医療推進課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らさげられるまちづくり										
		55	【特色ある区づくり事業】 超高齢地域ICT活用促進事業	メール配信システム等を利用し、コミュニティ活動における連絡等の基礎的な仕事の省力化を図ります。 地域ICT教室を開催し、大学生や専門学校生等のサポートを受けて高齢者が気軽にタブレット端末に触れる機会を作ります。	ICTを活用したシステムの実証実験	○	・山潟地区における携帯電話メール講座の開催 ・助け合いのまちづくり講演会の開催  ◆決算額(中央区):1,141千円 (取組結果:△・×の理由)	・2年間の取組みにより、高齢者の地域とのつながりとICT活用の実態把握ができたため、平成28年度をもって事業終了とします。	中央区	健康福祉課
		56	高齢者を地域で支えるモデル事業	新しい介護予防・日常生活支援総合事業を実施(平成29年度)を見据え、高齢者を地域で支える活動のすそ野を広げることがを目的に、住民組織やNPOなどを主体として選定したモデル事業を実施します。	・モデル事業検証を踏まえた、新しい介護予防・日常生活支援総合事業を基準作成  ・モデル事業実施数 各区2~4事業	○	・平成29年度からの新総合事業へ移行可能な事業を選定し、平成28年度も住民主体によるモデル事業を継続して委託  ◎モデル事業実施数(中央区):3事業  ◆決算額(全市):11,316千円 (うち中央区:600千円) (取組結果:△・×の理由)	・住民への周知啓発に努め、制度の趣旨を理解していただくとともに、第2層協議体と生活支援コーディネーターが地域資源を把握し、不足するサービスや支援を創出できるよう取り組んでいきます。	福祉部	地域包括ケア推進課
		57	地域包括ケア推進モデルハウス事業	多世代の居場所「地域の茶の間」の運営を支援する基幹型施設として、地域包括ケア推進モデルハウスを全区に1カ所設置します。	新潟市地域包括ケア推進モデルハウスを全区に拡充 (中央区H28までに設置)	○	・第1層生活支援コーディネーターが中心となり、各区にモデルハウスを設置  ◎地域包括ケア推進モデルハウス事業実施数:8カ所  ◆決算額(全市):4,370千円 (取組結果:△・×の理由)	・モデルハウスを拠点として地域の助け合いの活動を広げていけるよう取り組んでいきます。	福祉部	地域包括ケア推進課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況			今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果	取組事項(実績)			
障がいのある人もない人も共に認め合い、いきいきと暮らせるまちづくり										
		58	障がい者への理解を深める啓発	中央区職員を対象とした障がい者への介助や対応方法などを学ぶ研修を実施します。	研修会開催:1回	○	◎障がい者への理解を深める研修会開催 開催数:1回(視覚障がい者への理解を深める啓発研修) 参加者数:22人  (取組結果:△・×の理由) .	・今後も障がい者への理解を一層深めるため、職員からのニーズを把握し、それに対する啓発研修の継続を検討します。	中央区	健康福祉課
		59	基幹相談支援センター事業	障がい者に対する一般的相談支援に加え、施設等からの地域移行促進に係るコーディネート業務や、権利擁護・虐待防止にかかる啓発や研修、相談支援事業等への研修を通じた人材育成や助言指導などのスーパーバイズ業務を付加し、「基幹相談支援センター」として相談支援体制を強化することにより、障害者が安心して地域で暮らせる体制を整える。	さらなる支援拡充	○	◎相談件数 市内4基幹センター合計:28,625件 うち中央区居住者相談件数:6,713件  ◆決算額(全市):119,527千円 (うち中央区:29,076千円)  (取組結果:△・×の理由) .	・多様化する相談ニーズに対応するため、常に職員研修なども行いながら、地域の相談者や相談機関とつながるための中核的な役割を担うなど、市内の相談支援体制強化を念頭においた事業展開を行います。	福祉部	障がい福祉課
生活困窮者への支援										
		60	生活困窮者の自立支援	生活保護受給者をはじめとした困窮者に対する自立支援事業として、早期就労に向け、区役所内に設置された職業相談コーナー等ハローワークとの一層の連携による就労支援、親から子への貧困の連鎖の防止を目的とした学習支援を行います。	各事業の拡充	○	◎就労自立支援事業への参加者数:249人  ◎学習支援事業への参加者数:20人  (取組結果:△・×の理由) .	・引き続き、関係機関と連携しながら生活困窮者への自立支援を実施します。	福祉部	福祉総務課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況			今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果	取組事項(実績)			
4 防災・防犯										
災害に強い地域づくり										
		61	地域防災力の強化	<p>自主防災組織役員や学校職員、区内の中学生を対象とした避難所運営訓練を実施するとともに、防災士の育成を進めます。</p> <p>また、自主防災組織が、防災資機材保管庫の設置費用や避難所運営に関する防災資機材の購入経費を対象に補助金を交付し、地域防災力の強化を進めます。</p>	<p>防災士育成 累計52名 (H27年度末 累計47名)</p>	○	<p>◎防災士育成:累計52人 ・資格を取得した防災士に対するフォローアップ研修の実施 (地域の防災活動の活性化に必要な技術や知識など) ・自主防災組織結成助成:2組織</p> <p>◆決算額(中央区):計 1,098千円</p>	<p>・地域防災活動を継続していくためには、地域の防災リーダーとなる防災士を継続して養成することが必要であるため、防災士養成講座の開催や防災士育成助成制度の活用を通して資格取得を支援していきます。また、併せて、資格を取得した防災士に対して引き続きフォローアップ研修を行い、地域防災力強化を目指します。</p> <p>・自主防災組織結成率向上に向け、今後とも継続的に結成支援に取り組みます。</p>	中央区 危機管理防災局	総務課 防災課
		62	【特色ある区づくり事業】 要援護者支援推進事業	<p>ブザーやホイッスル等の啓発品配布などにより、自主防災組織や近隣住民、民生委員などからなる支援者と要援護者が顔の見える関係を構築します。</p>	<p>実施自治・町内会20団体</p>	○	<p>・支援組織に対する啓発品配布を通して支援者と要援護者のコミュニケーションづくりを実施 ・関係者の知識向上ならびに事業の周知を目的に講演会を実施</p> <p>◎実施自治会・町内会数:44団体</p> <p>◆決算額(中央区):75千円</p>	<p>・平成29年度からは、新たな区づくり事業の一環として新しい啓発品を用意し、支援者と要援護者の顔の見える関係づくりを引き続き促進していきます。</p> <p>・関係者の知識向上ならびに事業の周知を目的とする講演会も継続して実施します。</p>	中央区	総務課
		63	【特色ある区づくり事業】 地域版津波自主避難マップの作成支援	<p>区民一人ひとりが適切な避難行動をとれるよう地域が独自に作成する津波自主避難マップの作成支援を行います。</p>	<p>マップ作成コミ協数5</p>	○	<p>・地域が独自に作成した津波自主避難マップの作成に対する支援実施</p> <p>◎マップ作成コミ協数:5コミ協 (上所、栄、入舟、豊照、山潟)</p> <p>◆決算額(中央区):1,026千円</p>	<p>・本庁所管課において、平成29年度に「地域がつくる津波避難計画作成検討会」を行う予定はないとのことから、その成果品を印刷する本事業についても一旦終了とします。</p> <p>・今後、本庁所管課で「地域がつくる津波避難計画作成検討会」が再開される際は、中央区としての対応を検討していきます。</p>	中央区	総務課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんどこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
		64	災害時情報伝達の充実	新型同報無線を信濃川河口域及び開屋分水路に計8局整備するほか、基地局へのアプローチ回線の多重無線化等工事を行います。また、土砂災害ハザードマップを作成し、警戒区域内の全世帯に配布・周知します。	-	×	・平成29年度に県が公表する津波浸水想定図に併せて、浸水が広がる区域に無線の増設を検討します。	危機管理防災局	危機対策課	
		65	公共下水道の整備(浸水対策、地震対策、長寿命化対策、再生可能エネルギーの利活用ほか)	総合的な浸水対策や地震対策、下水道施設の機能保持に向けた老朽化対策を進めることで、集中豪雨による内水氾濫や地震災害時の被害を軽減させます。 ・浸水対策 下水道主要施設の整備の他、自助・共助の強化による総合的な浸水対策により浸水被害の軽減(最小化)を図ります。 ・地震対策 重要な管渠や処理場・ポンプ場の耐震化を進めるとともに、最低限の機能を確保し被害の最小化を図ります。 ・改築・更新 計画的な管渠・処理場・ポンプ場の維持管理を図ります。 ・再生可能エネルギー利活用 災害時においても、下水処理が継続できるだけのエネルギーの確保を図ります。	優先度を考慮し実施	○	・雨水管渠整備 ・重要な函渠の耐震化 ・マンホールトイレの整備(南万代小学校) ・下水道管渠および中部下水処理場各種施設の改築・更新  ◆決算額(全市):1,630,454千円	・浸水対策・地震対策・改築更新については、現在着手している事業を引き続き実施し、整備効果の発現を図ります。	下水道部	下水道計画課
		66	津波災害等避難対策事業	津波発生時に市民が迅速・確実に避難できるよう、各地域に合わせた避難計画の策定、避難先となる津波避難ビル等の指定と避難ビルに看板および要援護者の垂直移動を可能とする布担架の設置など、命を守るために津波からの確実な避難の実現を目指します。	津波避難ビルの指定(累計)前年度以上(H27年度:全市:125, 中央区:73)	○	◎津波避難ビルの指定か所数:131か所うち中央区:79か所  ◆決算額(全市分):1,502千円	・新潟県から新たな津波浸水想定が公表された後に、津波ハザードマップ作成、地域がつくる津波避難計画のフォローアップなどの事業を速やかに進めていきます。	危機管理防災局	防災課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)



中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果 取組事項(実績)				
		67	「6.16防災の日」事業	6月16日を本市の「防災の日」とし、毎年「地震対応訓練」と「情報伝達訓練」を実施します。防災訓練や啓発イベントなどを通じて、記憶の伝承や一人ひとりの防災意識の向上につなげていきます。 古町7番町を会場に、起震車による地震体験、防災関連の体験ブース、関連企業の展示ブースなどを設け防災フェスタを開催します。実際に体験できるプログラムを中心に構成することで、参加者一人ひとりが防災・減災について考え、行動する力を身に付けることを目指します。また、災害時に役立つ便利グッズや食品などの紹介も行い、防災意識の醸成を図ります。	・地震対応訓練(6/16)の実施 ・防災フェスタの実施	○  (取組結果:△・×の理由) .	・「ふるまち防災フェスタ」は、楽しみながら防災に触れてもらい、防災のことを身近に感じてもらえるように、また、「全市一斉地震対応訓練」は、事前に策定された避難計画を利用した地域が主体となった訓練実施を検討します。	危機管理防災局	防災課 危機対策課	
<b>交通安全の推進</b>										
		68	幼児や児童生徒、高齢者向けの交通安全教室の実施及び街頭における交通安全指導・啓発	各幼稚園・保育園・小中学校や老人クラブ等を対象に交通ルールの確認や自転車の乗り方などについて講習を行うとともに、地域と警察、交通安全関係団体と連携しながら、街頭で交通安全運動の指導や啓発を行い、交通安全に関する意識の向上を図ります。	・通年で教室を開催 ・交通安全運動にあわせた街頭指導	○  (取組結果:△・×の理由) .	◎交通安全教室の開催数:178回  ◆決算額(中央区):826千円	・中央区では子どもと高齢者の関係する交通事故発生件数は減少傾向にありますが、市全体の発生件数に中央区が占める割合は依然として大きいです。今後とも交通事故ゼロを目指して交通安全指導や啓発を継続していきます。	中央区	総務課
<b>防犯対策の取り組み</b>										
		69	高齢者に対する防犯教室の実施及び地域住民や関係機関による繁華街のパトロール活動	高齢者に対して振り込み詐欺に関する注意喚起を行うとともに、地域住民や警察、関係行政機関などが連携して、繁華街において、客引きの自粛とゴミ拾いなどを目的としたパトロールを行います。	通年で教室の開催とパトロールの実施	○  (取組結果:△・×の理由) .	◎防犯教室の開催数:22回  ◆決算額(中央区):0千円	・高齢者が狙われる特殊詐欺事件が増加しているので、啓発を強化していきます。 ・新潟駅前での風紀が悪化しているので、県警や地元ボランティア、本庁所管課とともにパトロール回数を試験的に増やし、効果を検証します。	中央区	総務課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
5 生活環境										
清潔で環境にやさしいまちづくり										
		70	地球温暖化対策実行計画推進事業	地球温暖化対策に資するため、市役所自らの温室効果ガスの排出削減に努めるとともに、地球温暖化対策実行計画(環境モデル都市アクションプラン)に基づき市民・事業者と連携しながら市域からのCO2排出量削減を図ります。 特に、平成27年度からは、新潟県環境リーダー育成協議会や、新潟県地球温暖化防止活動推進センターと連携し、家庭への省エネ講座をコミュニティ単位で実施するなど、家庭における省エネ行動の促進策を拡充させます。	・家庭部門におけるCO2排出量削減 全市130万t ・省エネ講習会参加者延人数 全市1,800人(累計)	○	・家庭における省エネ講習会の実施(24回うち中央区8回) ・家庭のグリーンカーテン設置支援実施(38園うち中央区9園) ◎家庭部門におけるCO2排出量:統計数値が未確定のため算定不可 ◎省エネ講習会参加者数:1,420人(累計)うち中央区456人(累計) ◆決算額(全市):1,714千円	・省エネ講習会の受講者増加に向けた周知、広報を行い、対象を学校にも広げていきます。	環境部	環境政策課
		71	にいがた未来ポイント事業	バスICカードのりゅうとを主な媒体として利用し、環境講座・イベントへの参加、電気・都市ガスの省エネやごみ減量の取組などの環境配慮行動に対して、市共通商品券やバスの乗車ポイントと交換可能なエコポイントを発行します。また、省エネ宣言および家庭のエネルギー使用量3か月分を記入したはがき、またはマイボトル利用によるスタンプカードを送付することで参加できる抽選を実施します。(年2回)。 環境配慮行動を促すほか、交通系ICカードを活用して公共交通利用の促進を図り、家庭・自家用車由来のCO2排出削減を図ります。	・ポイント制度への新規参加者数(2014年度まではCO2チェックモニター参加者数) 全市2,000人	○	・未来ポイントの対象事業拡大(生ごみ堆肥化事業参加、廃たぶら油回収等) ◎ポイント制度への新規参加者数:3,259人 ◆決算額(全市):7,204千円	・ポイント交換者を増やし、制度への新規参加を促すため、交換単位を引き下げよう制度を変更します。	環境部	環境政策課
		72	食品リサイクル地域活動支援及び生ごみ減量化・資源化推進事業	家庭系ごみのうち約4割を占める生ごみの減量化のため、地域における生ごみ堆肥化拠点を増設し資源循環ループを拡充するとともに、家庭でできる生ごみ堆肥化手法のひとつである段ボールコンポストの普及、各種生ごみ減量化・堆肥化講座を通じ、市民が行う生ごみ減量運動を支援します。	・段ボールコンポストの普及(全市 900個) ・地域における生ごみ循環ループの拡充(拠点数4カ所)	○	・コンポスト容器等の普及推進 ・食品リサイクル地域活動支援実施 ・各種講座開催 ◎段ボールコンポストの普及基数:524基 ◎地域における生ごみ循環ループ拠点数:3拠点 ◆決算額(全市):10,154千円	・各種生ごみの減量・堆肥化講座等を通じ、市民が行う生ごみ減量運動を支援します。	環境部	廃棄物政策課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
		73	市民の3R意識啓発の強化事業	ごみ処理行政に係る情報発信の強化、ごみ分別アプリの普及、にいがた未来ポイントと連携したマイボトルキャンペーンの展開、イベント等でのリユース食器の利用促進といった各種施策により、家庭系ごみの減量と分別徹底による資源化の推進を図ります。	・リサイクル率(年) 全市29.8% ・ごみ分別アプリダウンロード件数(累計) 30,000件	○	・サイトプレス発行 ・マイボトルキャンペーンの実施 ・未就学児及び小学校低学年向けゴミ・リサイクル出前講座授業の実施 ◎リサイクル率:28% ◎ごみ分別アプリダウンロード件数:16,786件 ◆決算額(全市):23,323千円 (取組結果:△・×の理由) ・	・引き続きごみの減量・リサイクル推進にかかる情報提供及び各種施策を実施することで、市民の意識向上を図り、ごみの分別徹底及び3R行動を推進します。	環境部	廃棄物政策課
		74	事業系ごみ減量化事業	市の事業系ごみの制度の周知徹底を図り、ごみの減量と資源化可能なものとの分別を推進します。また、排出事業者の自発的な取り組みを促すだけでなく、資源物の搬入規制の強化など積極的な指導に取り組むことで、市の施設に搬入される事業系ごみの削減を図ります。  ・制度の周知徹底 ・排出事業者へのごみ減量への動機付け ・分別及び資源化の促進に向けた誘導 ・産業廃棄物の混入防止	事業系ごみ排出量 全市79,300t/年	○	・多量排出業者への訪問指導の実施 ・処理施設への搬入物検査の実施 ◎事業系ごみ排出量(全市):78,399t ◆決算額(全市):31,185千円 (取組結果:△・×の理由) ・	・事業系廃棄物処理ガイドラインの更なる周知徹底を図るとともに、事業者訪問指導を継続します。また、搬入物検査も継続し、不適物混入防止を図っていきます。	環境部	廃棄物政策課 廃棄物対策課
水と緑が調和したやすらぎのあるまち										
1 水辺										
水辺に親しめる環境の整備										
		75	【特色ある区づくり事業】とやの物語	自然環境の大切さを啓発しながら、鳥屋野潟の未来を真剣に考え、語り合う。「鳥屋野潟を愛し、守り続けていく」ための組織「とやの物語実行委員会」の充実を図ります。	「とやの物語」の開催 数値目標:参加者数 4,000人以上	△	・「とやの物語2016」の開催 ◎参加者数:1,141人 ◆決算額(中央区):2,511千円 (取組結果:△・×の理由) ・開催日当日、雨天により屋外プログラムの多くが中止となったため。	・自然環境の大切さを啓発するとともに、鳥屋野潟の未来をみんなで考え、語り合う機会として、今後もイベントを実施します。	中央区	区民生活課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況			今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果	取組事項(実績)			
		76	潟の魅力創造・発信事業	本市の宝である「潟」の自然環境や歴史、暮らし文化などの魅力を発見し育て、現地で多くの方からご覧いただく取り組み(エコミュージアム)をソフト・ハード面で支援するとともに、潟の魅力をPRする各種事業を展開します。 ・潟の魅力創造市民活動補助金 ・各潟の環境整備 ・潟の魅力をPRするポスター等の作成 ・潟の魅力を発信するシンポジウム、ツアーの開催	・左記補助金の交付 ・ポスター、チラシの作成 ・潟の環境整備 ・シンポジウムの開催	○	・潟の魅力創造市民活動補助金の交付(11件) ・潟めぐりスタンプラリーの実施(応募者数:1,108人) ・潟周辺における木道等の修繕 ・潟の魅力を発信するシンポジウム、ツアーの実施 ◆決算額(全市):11,058千円 (取組結果:△・×の理由)	・引き続き市民活動に対する支援を継続するとともにスタンプラリーやシンポジウムの実施など、潟の魅力を伝える、発信する各種事業に取り組みます。	文化スポーツ部	文化創造推進課
		77	潟に関する研究	本市のアイデンティティの1つである「水と土」の象徴ともいえる個性豊かな「潟」の、自然環境や歴史、暮らし文化などについて広く調査・研究するとともに、潟の関わる団体活動や潟のイベント情報を収集し、刊行物、ホームページ、シンポジウムなどにより、情報や研究成果を広く市民に発信します。	・潟に関する調査・研究・情報の発信 ・関係者間の調整・ネットワークの構築	○	・客員研究員、協力研究員などによる研究 ・広報紙・報告書等の発行 ・庁内外の関係者間ネットワークの構築 ・潟に関する市民意識調査の実施 ◆決算額(全市):8,598千円 (取組結果:△・×の理由)	・関係機関や市民団体と連携しながら、効果的な情報発信をしていくとともに、今まで得た成果を生かしながら、潟と人々がより良い関係を築いていけるよう活動を進めていきたいです。	地域・魅力創造部	潟環境研究所
		78	鳥屋野潟の整備(湖岸堤及び周辺施設の整備)	鳥屋野潟の湖岸堤整備による洪水時の貯留機能の確保と、これに伴う潟の自然環境や景観の保全に配慮し、利便性・快適性を確保します。 また、鳥屋野潟の堤防整備と併せて県立鳥屋野潟公園の整備を促進し、県事業と整合のとれた周辺道路の整備についても推進していきます。	・県主催の住民説明会に協力 ・周辺道路の整備推進	○	・県整備事業とのスケジュール調整 (取組結果:△・×の理由)	・引き続き、事業が早期に進むよう県と調整していきます。	都市政策部 中央区	まちづくり推進課 建設課
		79	海水浴場PR事業	新潟市・新潟県観光協会の観光情報サイトの活用など、様々な手法で海水浴場のPRを行います。	PR実施	○	・新潟市・新潟県観光協会のほか、無料の観光情報誌やサイト等への掲載を行い、PRを実施 ◆決算額:0千円 (取組結果:△・×の理由)	・引き続き、無料の観光情報誌やサイト等への掲載を行い、PRを実施していきます。	中央区	地域課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんどこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
アクセシ性・回遊性を高める海辺づくり										
美しい水辺があるまちづくり										
		82	鳥屋野潟一斉清掃(春、秋)	昭和59年から実施している清掃活動を地元コミ協、自治会、各種団体、学校などと協力し、行います。	鳥屋野潟一斉清掃(春、秋)の実施	△	・春(平成28年5月22日(日)) 参加者数:800人 回収可燃ごみ:410kg、不燃ごみ:400kg ・秋(平成28年10月23日(日)) ※雨天のため中止  (取組結果:△・×の理由) ・秋の鳥屋野潟一斉清掃が雨天中止となったため。	・従来年2回実施していたが、平成29年度から年1回実施とし、今後は、春に実施することとし、中止となった場合のみ秋に実施します。	中央区	区民生活課
		83	日和山浜海岸清掃	平成8年から毎年海の日に新潟市で実施している海岸清掃の内、中央区では地元コミ協、自治会、各種団体、学校などと協力し、日和山浜海岸の清掃を実施します。	日和山浜海岸清掃の実施	○	・平成28年7月18日(月) 参加者数:600人 回収可燃ごみ:650kg、不燃ごみ:100kg  (取組結果:△・×の理由)	・市全体の方向性により対応していきます。	中央区	区民生活課
		84	関屋浜海岸清掃	関屋小学校区青少年育成協議会が主体となって関屋小学校児童の他にも各種団体が参加し、関屋浜海岸の清掃を実施します。	関屋浜海岸清掃の実施	○	・平成28年9月3日(土) 参加者数:400人 回収可燃ごみ:260kg、不燃ごみ:160kg  (取組結果:△・×の理由)	・現行どおり実施していく予定です。	中央区	区民生活課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんどこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果			
<b>2 緑化</b>									
<b>自然環境との共生</b>									
		85	【特色ある区づくり事業】 区民協働森づくりモデル事業 (区民協働森づくり事業)	新潟島の海岸林の必要性・重要性を広く区民に周知させる先導的な取り組みとして、旧市営汐見台住宅跡地周辺において、児童らとの協働により、クロマツの植樹を行います。	継続的な森の管理	○ ◆決算額(中央区):3,500千円 (取組結果:△・×の理由)	・地域や団体、有識者らと協働で海浜植物園周辺の土壌調査及び植栽計画の作成を実施 ・新潟島の海岸林の必要性、重要性を広く区民に周知していきます。	中央区	建設課
<b>居住空間の緑化推進</b>									
		87	生垣設置奨励助成制度	道路に面した民有地に設置する生垣新設に助成し、つながりのある緑の創出を図ります。	25m	○ ◎助成による整備延長:48m ◆決算額(中央区):222千円 (取組結果:△・×の理由)	・市民への周知を図り、助成件数増加に努めます。	中央区 土木部	建設課 公園水辺課
		88	緑化活動推進助成事業	緑豊かな街並みづくりを推進するため、公園をはじめ、市公共施設や道路用地での緑化を行う団体に対して、花苗などの原材料の支給をします。	60件	○ ◎助成件数:57件 ◆決算額(中央区):5,577千円 (取組結果:△・×の理由)	・引き続き限られた予算の中で地元の要望に多く答えられるよう努めます。	中央区 土木部	建設課 公園水辺課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				取組事項(実績)
未来につなぐ歴史・文化のまち										
1 歴史・文化										
未来に向けた歴史・文化の継承										
		90	【特色ある区づくり事業】 みなとまち文化推進事業 (料亭の味と芸妓の舞)	比較的低料金で、芸妓の舞を鑑賞しながら老舗料亭の料理を味わってもらい、花街及び料亭文化の保護・振興を図ります。	継続 参加率90%	△	◎「料亭の味と芸妓の舞」開催回数:38回 参加者数:906人 参加率:83.1% ◆決算額(中央区):1,357千円 (取組結果:△・×の理由) ・参加率が達しなかったため。	・引き続き三業協同組合が主催する「料亭の味と芸妓の舞」事業に対する支援を継続するとともに、古町芸妓・料亭など、花街の歴史や文化等の魅力を発信する各種事業の実施を検討します。	中央区	地域課
2 産業										
最大消費地を活かした地場製品の消費拡大										
		92	食のマーケットイン支援事業(新潟IPC財団補助金)	自らが一次産品を生産する中小企業者に対し、食の技術コーディネーター、プロジェクトマネージャーによるハンズオン支援及び経費補助を行い、商品開発、加工、販路拡大計画等の取り組みを支援します。継続取引の期待できる食品卸企業や飲食店チェーンなどとの商談の機会を通じて新販路開拓についても支援します。	6次産業化に向けた食のマーケットイン支援件数 前年度以上 (H27年度:4件)	○	・販路拡大計画の策定支援 ・商談会への出店支援 ◎6次産業化に向けた食のマーケットイン支援件数:4件 ◆決算額(全市):5,932千円 (取組結果:△・×の理由)	・6次産業化は市の重点施策のため、引き続き実施してまいります。	経済部	産業政策課
		93	食の域内取引支援事業(新潟IPC財団補助金)	市内中小食品メーカーと市内を中心とした食品バイヤーを対象に、事前に商談したい商品や相手を調整し時間や労力のロスを最小限にとどめることで、より多くの市内中小食品メーカーが参加しやすい事前調整型個別商談会を開催します。市内で開催する食品卸業者主催の商談会に市内中小食品メーカーと共同出展します。	商談件数 域外販路開拓企業数 前年度以上 (H27年度:商談件数:172件 域外販路開拓企業数:16社)	○	・食品卸売業者主催の商談会に共同出展 ・財団主催の個別商談会を開催 ◎商談件数:93件 ◎新規販路開拓企業数:15社 ◆決算額(全市):1,399千円 (取組結果:△・×の理由)	・金融機関や他の支援機関と連携し、新たな売り手・買い手の掘り起しを行い、実施します。	経済部	産業政策課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんどこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況			今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果	取組事項(実績)			
<b>伝統産業の育成・支援</b>										
		94	【特色ある区づくり事業】 発酵食産業PR事業	高品質な中央区の発酵食を区内外に向けてPRすることで、地域の伝統産業である発酵食産業の振興を図ります。	・料理教室 3回 ・体験プログラム 3回	○	◎発酵食品を使った料理教室の開催 開催数:2回 ◎親子発酵食品体験プログラムの実施 実施回数:2回 ◆決算額(中央区):2,032千円  (取組結果:△・×の理由) .	・開港150周年という大きな節目を好機と捉え、北前船の贈り物とも言える「発酵食」と「新潟漆器」の二つの伝統産業を北前船に絡めて広くPRし、その魅力を市民から再発見してもらえるよう努めます。	中央区	地域課
		95	【特色ある区づくり事業】 みなとまち文化推進事業 (文化施設等を活用した伝統文化PR)	砂丘館、旧齋藤家別邸など、中央区の西大畑・旭町界隈の文化施設の連携を進め、中央区の伝統文化をPRします。	継続 参加施設数 5施設	○	・西大畑界隈の文化施設を会場としたPR事業の実施 ◎参加施設数:8施設 ◆決算額(中央区):1,357千円 (取組結果:△・×の理由) .	・中央区の「みなとまち」としての伝統文化を今後もPRしていくとともに、西大畑界隈だけでなく、新潟島、ひいては中央区内の文化施設の参加についても、可能性を調査します。	中央区	地域課
<b>魅力あふれる商業の振興</b>										
		97	中小企業経営強化支援事業	創業や経営・技術革新、新事業の創出、事業高度化に取組む中小企業等に新潟IPC財団ビジネス支援センターを活用していただき、販売戦略から製品開発、販路拡大に至るまで一貫した支援を行うことにより、地域産業の活性化を図ります。	新たな取組み開始数 前年度以上 (H27年度:114件)	○	・新潟IPC財団と連携して中小企業の販路拡大や技術開発を支援 ・公認会計士・税理士の資格を持つ専門家相談員の配置による相談体制の強化 ◎中小企業の新たな取組み開始数:99件 ◎相談・コンサルティング件数:1,600件 ◆決算額(全市):85,239千円  (取組結果:△・×の理由) .	・引き続き新潟IPC財団や関係機関と連携して中小企業・創業者を支援するとともに、専門人材による相談体制の強化を図ります。	経済部	産業政策課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)



中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果			
		98	商店街内創業サポート事業	認定特定創業支援事業を受け、商店街内の空き店舗を活用して創業する場合の店舗賃借料を支援することで、商店街での創業を促し、商店街活性化を図ります。	事業活用件数 全市 23件	△ ・商店街内の空き店舗を活用して創業する場合の店舗賃借料の支援実施 ・各金融機関等との連携だけでなく、行政関連施設や不動産業者を通じた広報活動の実施  ◎事業活用件数:2件 うち中央区:2件  ◆決算額(全市):2,320千円 (うち中央区:1,755千円)  (取組結果:△・×の理由) ・出店場所や申請時期が合わず、申請を断念する事業者が多く、新規採択事業が当初見込を下回ったため。	・重点的に支援すべき商店街エリアについては、補助率等をかさ上げすることで引き続き商店街の空き店舗への出店を誘導し、商店街やまちなかの活性化につなげていきます。	経済部	商業振興課
		99	中小企業開業資金	市内で開業または開業後間もない(開業後6カ月以内)中小企業者の方に対し、資金調達支援を行う。2015年度は、国に認定された創業支援事業計画における特定創業支援事業の支援を受けた者(市が証明書を発行)に対し、融資限度額の引上げと、保証料補助の拡充を行います。また、一般開業のうち、運転資金の限度額を設備資金と同額まで引き上げ、新規開業者への支援の強化・充実を図ります。	新規貸付件数 全市 100件	○ ・開業等による必要な資金の貸付実施 ・利子補給を行う優遇措置の開始  ◎新規貸付件数:112件  ◆決算額(全市):200,666千円  (取組結果:△・×の理由) ・	・制度の充実を図りながら、関係機関と連携したPRにより新規開業者の資金調達を支援し、新規開業を促します。	経済部	商業振興課
		100	創業準備支援事業	創業や既存企業の新事業立ち上げに係る準備経費の補助や、株式会社設立の際にかかる経費を軽減し、創業しやすい環境を整えることで創業を促進し、地域経済の活性化と雇用の創出につなげます。 ①創業準備補助金 ②法人設立支援補助金	創業準備補助金における支援件数 法人設立支援補助金における支援件数 前年度以上 (H27年度:創業:9件 法人:7件)	○ ・創業を目指す人や企業内ベンチャーを支援 ・創業時法人登記の支援  ◎創業準備補助金における支援件数:10件 ◎法人設立支援補助金における支援件数:15件  ◆決算額(全市):2,841千円 (取組結果:△・×の理由) ・	・引き続き新潟IPC財団等と連携して創業前から創業後まで切れ目なく支援していきます。	経済部	産業政策課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況			今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果	取組事項(実績)			
		101	ベンチャー企業支援事業	新事業の創出を図るため、創業希望者および創業3年未満のベンチャー企業に対し、事務所賃借料の2分の1および通信費の一部を助成します。	ベンチャー企業支援事業新規採択数(累計) 32件	○	・事務所賃借料補助実施 ◎ベンチャー企業支援事業採択数:23件 ◆決算額(全市):7,635千円 (取組結果:△・×の理由)	・従来のベンチャー企業支援事業を刷新して、店舗系の創業サポート事業とのバランスを考慮し、ITシステム・利活用関連産業をよりサポートを強化、基準の厳格を図るとともに、採択後の経営相談紹介など、さらにきめ細かい充実したサポートを行いつつ、IT企業を中心に、賃料補助等を実施し、起業・創業を支援します。	経済部	企業立地課
		102	起業家応援コンシェルジュ事業	産官学の支援機関と起業家支援のプラットフォームを形成することで、ベンチャー企業の育成・支援を行います。 ・「起業プロセスの疑似体験」を目的に、スタートアップ・ウィークエンドやアイデアソンのような短期集中のアイデアコーディングを実施 ・創業・起業間もない事業者の販路拡大につながる交流促進事業やマッチング事業を実施	支援者数 40人(H26年度 40件)	×	(取組結果:△・×の理由) ・ベンチャー企業の育成・支援の前にICTスキルが不可欠なため人材育成の分野へシフトしたため。	・他課や金融機関とも連携して包括的な創業支援事業が行われている中で、本事業の内容もカバーされていることから、復活させることは今のところ検討していません。	経済部	企業立地課
<b>3 まちなみ</b>										
<b>景観に配慮したまちづくり</b>										
		103	柳都にいがた街並みづくり推進事業	古町界隈において景観資源の調査を行い、その調査結果を地域住民等と共有し、地域の宝であることを認識します。さらに地域固有の景観特性を反映した景観計画特別区域の策定や景観重要建造物・樹木候補の選定を行い、地域固有の景観の維持・継承を図ります。また、維持継承を誘導・促進するため、景観重要建造物の外観保全等に係る費用に対する助成制度を新たに創設します。	・地元関係者との勉強会 ・古町界隈の景観重要建造物の指定 ・古町界隈の景観計画特別区域の指定 ・助成制度の検討	○	・旧齋藤家別邸周辺地区において、景観重要建造物を3件指定、景観形成推進組織を認定及び活動費支援の実施 ・景観重要建造物に関する助成制度案の作成 ◎旧齋藤家別邸入館者数:47,731人 ◆決算額(全市):1,606千円 (取組結果:△・×の理由)	・他都市の先進事例を調査するなどして、景観重要建造物などの維持・保全策案をより具体化し、制度化を進めます。 ・古町花街地区については、地元組織と協働し、地域商店主等の景観形成に対する意識向上に努めます。	都市政策部	まちづくり推進課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課	
					工程・数値目標	取組結果				
		104	湊町新潟花街文化を活かしたまちづくり事業	「古町花街・白壁通り」地区には、長い時間をかけて作り上げられた「みなとまち」の歴史・文化的資産が数多く残されています。それら地域固有の歴史・文化資産を後世に継承できるように「みなとまち」の歴史や文化を活かしたまちなみの保全・創出に取り組み、地域の人々が誇りと愛着を持ってその街に暮らし、訪れる人々がその魅力を楽しみながら回遊できる都市空間を創出します。	・地元関係者との勉強会 ・景観重要建造物の検討 ・景観計画特別区域の検討 ・掘割再生の基本計画 ・白壁通りの道路改修工事 ・まち歩き拠点施設の用地取得	△	・行形亭の土蔵及び堀と北方文化博物館新潟分館の土蔵を景観重要建造物に指定 ・白壁通りの石畳化などの整備  ◆決算額(全市):77,573千円  (取組結果:△・×の理由) ・掘割再生に向けた地元商店街の機運が高まらず、勉強会が停滞しているため。	・古町通7番町地区第一種市街地再開発事業との連携を図るとともに、公共交通利用者の回遊性の向上と古町周辺地区の活性化に向け、事業の推進を図ります。	都市政策部	まちづくり推進課

区政運営の基盤

1 土地利用										
行政資源の有効活用										
		106	超高齢・長寿社会における市営住宅建替え事業(高齢・子育て世帯向け市営住宅整備事業)	老朽化し、現地での建替えが困難な市営住宅について、市有地を活用して福祉施策と連携した建替えを行い、地域包括ケアシステムの効果的な展開に繋がります。また、高齢者向け住宅(シルバーハウジング)と併せ、子育て世帯向け住宅の整備を行い、良好なコミュニティの形成を図ります。	基本設計	○	・(仮称)日和山住宅移転改築事業に係る基本設計の実施  ◆決算書(全市):13,564千円  (取組結果:△・×の理由)	・策定した基本設計に基づき、実施設計を行います。	建築部	住環境政策課
		107	(仮称)国際青少年センター及び(仮称)芸術創造ファクトリー整備事業	大規模跡地利活用の一つである旧二葉中学校舎を改修し、現大畑少年センターに国際機能を付加した(仮称)国際青少年センター及び文化芸術の担い手(アーティスト・クリエイター)の創造活動の拠点となる(仮称)芸術創造ファクトリーを整備します。	・実施設計 ・改修工事	○	・新潟市芸術創造村・国際青少年センター整備事業に係る実施設計の作成など。  ◆決算書(全市):26,357千円  (取組結果:△・×の理由)	・作成した実施設計に基づき、改修工事を行います。(平成30年5月開館予定)	教育委員会事務局 文化スポーツ部	地域教育推進課 文化政策課

※再掲事業は割愛しています。  
No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況		今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果 取組事項(実績)			
		108	跡地利用の検討	小学校の統合等により生じた跡地について、地域のまちづくりの観点も考慮しながら活用方法を検討します。	・利用検討 ・方針が決定したところから順次進捗	○ ・旧中央卸売市場については、公募型プロポーザル方式による売却実施 ・旧二葉中学校跡地におけるグラウンドの活用策の検討(継続)  (取組結果:△・×の理由) ・	・旧二葉中学校跡地におけるグラウンドについては、貴重な立地を活かしながら全市的な視点で、活用策の検討を進めます。	地域・魅力創造部 外	地域・魅力創造部 外
<b>2 公共施設</b>									
行政機能のあり方の検討									
		109	東地域保健福祉センターの整備検討	施設が老朽化している東地域保健福祉センターの整備を検討します。	整備方針の検討	○ ・施設の規模・機能など、整備方針を確定  (取組結果:△・×の理由) ・	・地元説明会を通じて、意見聴取を行いながら、基本・実施設計業務を進めます。	中央区福祉部 保健衛生部	健康福祉課 福祉総務課 保健衛生総務課
<b>3 行政サービス</b>									
質の高い行政サービスの提供									
		110	窓口改善運動の継続	平成23年度から取り組んでいる窓口改善活動(FI活動)に引き続き取り組みます。	窓口改善運動の継続	○ ・改善チームの立ち上げ ・情報交換会の開催 ・請求書一本化の全市展開  (取組結果:△・×の理由) ・	・区役所移転や、窓口サービス課の新設などの状況を踏まえて検討していきます。	中央区	区民生活課
		111	職員の資質向上のための研修の実施	平成22年度から中央区オリジナル接遇研修を実施し、中央区全体での窓口・電話での接遇能力の向上、その他、業務研修の実施や受講により資質向上に努めています。引き続き、これらの研修を実施します。	「中央区オリジナル接遇研修」等の開催	○ ・中央区オリジナル接遇研修の開催 ・人材育成担当部署が主催する接遇研修の受講  ◎接遇研修に関する研修参加職員数：60人 ◆決算額（中央区）：368千円  (取組結果:△・×の理由) ・	・現行どおり実施する予定です。	中央区	区民生活課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんでこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:湯の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)

中央区区ビジョンまちづくり計画 事業一覧(平成28年度取組状況)

取組結果…○:計画通り実施, △:一部実施, ×:未実施

目指す区の姿	施策の方向性	事業No.	事業名	事業概要	H28年度における取組状況			今後の方向性	担当部	担当課
					工程・数値目標	取組結果	取組事項(実績)			
		112	外国語による情報発信事業	外国語パンフレットの作成やWebサイトなどにより、外国人居住者や来街者の利便性を向上させるとともに、中央区の魅力を発信します。	各種媒体による情報発信のさらなる充実	○	・首都圏で無料配布される月刊英語版生活情報誌に「古町芸妓と料亭・和食」と「地酒、酒の陣」の広告を掲載 (取組結果:△・×の理由)	・SNSを利用する観光客が、新潟の魅力的な撮影スポットを巡りやすいように、多言語の案内リーフレットや撮影ポイントの目印看板などを整備します。	中央区	地域課
		113	【特色ある区づくり事業】まちなか公共施設サイン事業	外国人の生活空間・観光範囲の拡大を視野に「住んでいる人」「訪れる人」が住みやすい街、出かけたい街の実現を目指し、中央区の管理施設に英語表記等の案内サインを設置します。	さらなる充実(その他の施設)	×	(取組結果:△・×の理由) ・H27年度に4施設に実施済みであり、その他の施設へ設置する必要性について検討し、28年度は実施を見送ったため。	・案内サイン設置の要望があった時に設置を検討します。	中央区	総務課
		114	区役所だより発行事業	「区役所だより」に区の魅力に関する記事を掲載し、区民の関心の向上を図ります。	12件	○	・地域活動や区の魅力的なイベント記事の掲載 ◎区の魅力に関する記事掲載:21回 (取組結果:△・×の理由)	・平成29年度は16記事の掲載を目標にします。	中央区	地域課
		115	SNSなどICTの活用事業	FacebookやTwitterなどの情報媒体を活用し、区づくり事業のイベントなどについて情報発信します。	実施	○	◎Facebook「ぶらり中央区」投稿数:24 (取組結果:△・×の理由)	・フォロワーもついており(449人)、記事内容の充実を図り掲載を続けます。	中央区	地域課

※再掲事業は割愛しています。  
 No.5、96(No.1:中央区拠点商業活性化推進事業の実施)  
 No.14(No.4:新たな交通推進事業)  
 No.18(No.9:中央区えんてこ(まち歩き)事業)  
 No.80(No.7:歩いて楽しいまちなかサイン事業)  
 No.81(No.79:海水浴場PR事業)  
 No.86(No.76:潟の魅力創造・発信事業)  
 No.89(No.27:地域と学校パートナー事業)  
 No.91(No.26:マンガ・アニメを活かしたまちづくり)  
 No.105(No.6:都心軸・萬代橋周辺エリア賑わい空間創造事業)